

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

'99.10.25 No. 5036

## みんなの力で 新会館をつくらう!

### 第27回大会で方向性を確認

#### 新会館建設の方向性を確認

第27回大会では、会館運営委員会の答申を受けて、新会館の建設に向けた具体的な方向性が確認・決定された。

一昨年(97年)の大会で、「動力車会館(本部事務所)の増改築の検討」が決定されて以来、その付託を受けた会館運営委員会は、二年にわたる調査・検討を行い、新会館建設についての考え方や方法について討議を重ねてきた。

昨年の大会での第一次答申を経て、今年第27回大会では、いよいよ新会館建設の具体的な着手に向けて方向性を定め、最終的な検討を行うことが決定され、新年度の会館運営委員が選出された。

君塚 正治	新小岩
錦織 芳雄	銚子
小倉 邦夫	千葉転
照岡 清一	鴨川
その他、本部三名	

#### 新会館建設に向けた考え方

① 新たな動力車会館の建設は、現在の会館が築後23年あまりを経過し、水回り・屋内配線など大幅な修繕が必要となるなど、老朽化していること、

#### ② 動労千葉結成20周年を期して

団結の砦として新会館を整備することは、時代に通用する新たな世代の動労千葉をつくらうという、われわれの基本方針にとっても大きな意義をもつ事業であること、

③ 二〇〇一年から、金融機関が破たんした場合、預金一口につき一千万円までしか保障しないペイオフ制度がはじまり、組合財産の保全という意味でも、新会館の建設について判断すべき時期にあり、また逆に深刻な不況がつづく今日の経済情勢は新会館の建設に有利な条件となっていること、

——などに踏まえ、三回にわたる大会での討議を経て決定したものである。

またこの間の討議のなかでは、組合員からの新たな徴収はせずに、会館建設費とその他会計からの引き当てによって費用を賄うことを前提に、① 現在の場所での増改築や新築、② 新たな場所での新築、③ 中古物件の取得など、様々なケースについて調査・検討が進められてきた。

#### 新たな飛躍への事業として

新動力車会館の建設は、国鉄闘争の勝利と闘う労働運動の新しい潮流をつくりあげるわれわれの不動の決意を示すものだ。また結成20周年という大きな節目を迎え、新たな飛躍へのスタートを切る動労千葉の一大事業だ。大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉への飛躍をかけて、その団結の砦として、全組合員の力で新会館の建設を実現しよう。

十一月三日(九時) 動労千葉団結運動会  
▼家族そろって楽しい一日を!  
▼千葉公園グラウンド

## 10・20百万人署名運動千葉集会 開かれる —小田原 紀雄さんが講演—

これまでのたたかいの成果の上に新署名や臨時国会闘争など新たなたたかいに向かって歩み始めることを参加者全体で確認。熱気ある集会となった。



### 10/21国際反戦デー東京集会開催

(渋谷・宮下公園)

### 11・7から秋の国会闘争に向けて気勢



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!